

広報 かるまい Karumai 9

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

Sep. 2026
vol. 810

【表紙】

令和8年度二十歳のつどい

祝二十歳おめでとう



希望を胸に 新たな一歩

令和8年度 二十歳のつどい

「令和8年度軽米町二十歳のつどい」が8月15日にかかるまい文化交流センターで開かれ、本年度二十歳を迎える対象者101人のうち42人が出席しました。

式典では、山本賢一町長が二十歳を迎えた皆さんの門出を祝い、「ふるさと軽米の発展には、皆さんをはじめとする若い世代の力が必要です。若い感性と、新しい未来を切り拓こうとする強い気持ちで、町づくりの主役として積極的に参画し、ともにより良い郷土軽米を築いていきたい」と激励しました。

出席者を代表して謝辞を述べた浅水颯太さん（上円子）は、感染症の拡大により学校行事などが制限された中学時代を振り返り、「制限があったからこそ、当たり前の日常の尊さや、仲間と顔を合わせて笑い合える時間

の大切さに気づくことができました」と話しました。また、「これから『守られる立場』から、地域や社会を『守り、支える立場』へと一歩を踏み出します。

いただいた多くの優しさと恩を忘れず、次の世代や大好きな軽米町の未来へつないでいきます」と、誠実に歩んでいきます」と力強く決意を述べました。

式典終了後には、記念アトラクションとして創作太鼓の会「座・宇漢米」が迫力ある和太鼓の演奏を披露。最後には出席者全員で記念撮影を行いました。

二十歳を迎えた皆さんは、家族や恩師、友人など、これまで支えてくれた人たちへの感謝と未来への希望を胸に、それぞれの新たな一歩を踏み出しました。

皆さんが生まれた 2006年度はこんな年でした！

- ◆セルビア・モンテネグロからモンテネグロ共和国が独立を宣言
- ◆第18回目のサッカーワールドカップがドイツで開催
- ◆亀田興毅がWBA世界ライトフライ級王座を獲得
- ◆秋篠宮文仁親王と同妃紀子の間に第3子となる男児が誕生、後に「悠仁」と命名
- ◆夏の高校野球甲子園決勝、37年ぶりに引き分け再試合で早稲田実業が初優勝
- ◆任天堂の家庭用ゲーム機「Wii」が販売、ゲームキューブの次世代機
- ◆自衛隊の管理、運営及びこれに関する事務を行う防衛省が発足
- ◆第1回東京国際マラソンが開催



軽米町ふるさと大使通信

僕と、あなたと、軽米と。

お盆休みに思うこと

まだ、残暑が厳しい時期ですがいかがお過ごしですか？先日、お盆のお墓参りで軽米に帰った際に、山内地区の夏祭りに参加してきました。中学生の頃は毎年のように、同級生と参加した思い出深いこのお祭り。あれから20年経ち、今年はお客さんではなく、迎える側！少しですが準備のお手伝いにも参加し、スタッフTシャツも着せてもらいました。

祭りが始まってからは、お菓子まきで壇上に上がり、サイン入りCDを景品としてプレゼントさせてもらいました！お菓子やおもちゃを配る時間の中で、地域の子供たちや家族の方々、懐かしい地元の同級生や先輩など中学時代の仲間たちが次々と声をかけてくれました。

地元のお祭りの「あの頃と変わらない感じ」が、たまらなくうれしかったです。少しの時間しかいられませんでした。この夏のいい思い出になりました。町の祭りを支えてくださっている皆様には心から感謝です。ありがとうございました！

しょうや
神久保 翔也ふるさと大使

・令和6年8月、軽米町
ふるさと大使に就任
・軽米町出身
・スイーツアイドルユニット「甘党男子」メンバーとして活躍中
SNS情報
#軽米町ふるさと大使

お菓子まきを楽しむ神久保大使
(右から3番目)焼きそばの盛り付けも
手伝いました！

日本代表としてアジアの頂点へ

東京女子体育大学3年生の内澤明未選手（軽米中出身）が、バレーボール女子ユニバーシアード日本代表に選出され、8月11日から16日まで香港で開催された「2026女子アジア東部地区選手権大会」に出場しました。日本代表として世界の舞台で戦い、チームの優勝に貢献。内澤選手は「大会期間を通してさまざまなことを感じる事ができ、バレーボール以外の部分も含めて全てが貴重な経験となりました。この経験を糧に、自身の成長につなげられるよう頑張ります。応援ありがとうございました」と感謝と今後への意気込みを語りました。



世界の舞台で躍動する内澤選手



県北青少年の家で記念写真

音更町との子どもも交流

姉妹町・音更町との交流を深める子ども会リーダー音更町視察研修が行われました。

7月27日から30日までの4日間は、町内の小学5・6年生14人が音更町を訪問。音更ふるさと資料館や道の駅「なつぞらのふる里」、帯広競馬場などの見学、きびだんご作りにも挑戦し、音更町の文化や魅力に触れました。

また、8月4日から6日までの3日間は、音更町の小学生による視察研修団を軽米町に迎えました。カレー作りやそば打ち体験、パークゴルフなどを一緒に楽しみ、交流を通して親睦を深めました。

はると
千本 晴大さん
(軽米小6年)

最初はみんなと仲良くなれるか心配でしたが、すぐに音更町の子と仲良くなれてうれしかったです。特に心に残っているのは、みんなできびだんごを作ったことです。火加減に気を付けながら頑張って作り、北海道産のあんこをのせて食べると、とてもおいしかったです。音更町に行けたことは貴重な体験になりました。また行きたいです。

なな
澤尻 菜々さん
(小軽米小6年)

音更町に行って、特産物や文化についてたくさん知ることができました。特に驚いたのは、畑いっぱい広がっていた小麦です。軽米町と同じように農業が盛んなところも分かり、音更町のことをもっと知ることができました。十勝ヶ丘展望台から見た広い景色もきれいで心に残りました。

帯広競馬場「ばんえい十勝」で
馬の餌やり体験キャンプファイヤーを囲み
フォークダンスを踊りました！

真剣に蕎麦作りに挑戦



音更ふるさと資料館



パークゴルフ交流会

新

新聞を活用して地域を知る 軽米中でプラス日報出前講座



タブレットでプラス日報の使い方を学ぶ生徒たち

プラス日報出前講座が8月24日、軽米中学校1年生を対象に行われました。総合的な学習の時間「ディスカバー軽米」の一環で、岩手日報の職員から雪谷川水害と復興について学習。その後、過去の新聞記事を検索したり、自分で紙面を作ったりできる学校向け教材「プラス日報」の使い方を学びました。

地

地域の見守り強化へ 町と岩手日報軽米センターが連携

町と岩手日報軽米センターは8月24日、住民の安全・安心な暮らしの実現と見守り体制の強化・推進等を目的に連携協定を締結しました。立花寿浩所長は「地域の小さな変化に気づき、皆さんが安心して暮らせるよう、スタッフ一同で地域安全の柱になれるよう取り組みたい」と話しました。



協定書を手にする山本町長と立花所長（右）

自

自然の中で遊んで学んで 折爪岳であそぶだけ！開催



折爪岳の「岳の湧口」にふれました

折爪岳振興協議会主催の「折爪岳であそぶだけ！」が8月23日にミレットプラザなどで開かれ、町内外から21人が参加しました。参加者は、そば打ちや魚釣りを体験したほか、岳の湧口を散策し、折爪岳の豊かな自然に親しみました。昼食には自分たちで打ったそばを味わい、折爪岳の魅力を満喫する日となりました。

収

穫期を迎えるホップ 町内のホップ収穫

町内で8月18日からホップの収穫が始まりました。岩手県北ホップ農業協同組合では、11戸の農家が約15ヘクタールの畑でリトルスターやソラチエース、信州早生などを栽培。収穫作業では、^{やぐら}樽を取り付けたトラックにホップを^{つる}蔓ごと積み込みました。収穫したホップは晴山地区の処理加工センターへ運ばれます。



たくさん実ったホップを次々と収穫

宇

宇漢米館がディスコホールに DANCING NIGHT（かるたす主催）



世代を超えてディスコミュージックを満喫

「KARUMAI DANCING NIGHT」が8月1日に宇漢米館で開催されました。会場はミラーボールと花道でディスコホールに変身し、懐かしのディスコミュージックに合わせて来場者が思い思いに楽しみました。スペシャルゲストには「ミモレーズwith DJ MAKOTO」が登場。会場は大いに盛り上がりました。

手

手作りおやつに挑戦 児童クラブで教室開催

児童クラブおやつ作り教室が8月6日に宇漢米館で開かれ、放課後児童クラブの小学3から6年生32人が参加しました。子供たちは、サバ缶を使ったポケットサンドと牛乳ココアプリン作りに挑戦。参加した子供たちからは「家でも作ってみたい」といった声が多く聞かれ、楽しく食への関心を深めました。



サバ缶を使ったポケットサンドを丁寧に仕上げました

夏

休みにじっくり学習 サマー学習会開催



課題に集中して取り組む生徒たち

中学生サマー学習会が8月5日と6日に宇漢米館で行われ、軽米中学校の1から3年生16人が参加しました。生徒たちは夏休みの課題や1学期の復習に取り組み、自分の力で問題を解きながら、分からないところは町の学力向上支援員に質問。一人一人が集中して学習を進め、苦手分野の克服や学力の向上に励みました。

跳

跳んで滑って大はしゃぎ！ ふわふわキッズパーク

町地域活性化実行委員会（かるたす）主催の「エア遊具で遊ぼう！ふわふわキッズパーク」が8月8日と9日に宇漢米館で開かれ、親子連れでにぎわいました。会場には巨大スライダーやドームトランポリン、ボールプールなどの大型エア遊具が登場。子供たちは思い切り跳んだり滑ったりしながら、元気に楽しみました。



ボールプールで笑顔いっぱい！



軽高だより

中高一貫挨拶運動・交流会を開催

7月8日、軽米高校と軽米中学校の生徒が合同で「挨拶運動」と「交流会」を実施しました。挨拶運動は、今年度3回目の実施で、両校の生徒が2グループに分かれ校門付近で元気に挨拶を行いました。交流会は今年度初めての実施であり、軽米中学校で行われました。交流会では、初めに自己紹介を行い、その後、両校の執行部が挨拶運動の振り返りを行い、成果と課題を共有し、今後の活動に活かすためのグループワークを行いました。グループワークでは、積極的な意見交換が行われ、挨拶を返してくれる生徒が多くなってきた等の成果が挙げられました。今後は、課題点を踏まえて実践し、挨拶運動によって元気な挨拶の輪を広げられるようにと、一致団結することができました。



挨拶運動の様子



軽高生と軽中生とのグループワーク

仕事を体験し、将来を考える

軽米高校2年生が7月29日から31日までの3日間、職業への理解を深めるため、インターンシップ（就業体験）を行いました。生徒たちは、軽米町内や周辺地域の企業・事業所で、販売や保育、介護、事務などさまざまな仕事を体験。町役場で広報業務を体験した向屋敷^{しやう}さんは「取材の仕方やカメラの使い方など、とても勉強になりました。今回学んだことをこれからの進路に生かしたい」と話し、実際の仕事に触れながら、働くことへの理解を深めました。



取材をする向屋敷さん

学校の様子はこちらからもご覧いただけます



ホームページ



note



vimeo

軽米高校同窓会東京支部会を開催

在京
軽米会
だより



同窓会動画



笑顔に記念撮影

6月20日、第61回軽米高校同窓会東京支部総会・懇親会が開催され、遠方からの参加者を含む38名が集いました。今回は、6年ぶりとなる新卒者の参加に加え、初参加の方も5名おり、新たなつながりが生まれる会となりました。

初参加者の中には、軽米高校に在籍後、日本相撲協会立田川部屋に入門し、「福ノ里」のしこ名で最高位十両13枚目まで務め、引退後は若者頭として活躍された福田邦男さんも。令和8年6月に定年退職を迎えられ、このたびご出席いただきました。

会」の松本由男会長からも祝電が寄せられ、会場は終始、再会を喜ぶ笑顔に包まれました。

後半の校歌斉唱では、高校時代の思い出や応援歌練習の日々がよみがえり、涙ぐむ方の姿も見られました。全員で歌い上げる校歌に、世代を超えた「つながり」と「絆」を強く実感しました。

新卒者からは「温かく迎えてくださり、とても楽しい会でした」との言葉もいただき、後輩へ同窓会のつながりを受け継いだことを嬉しく思います。ご出席、ご協力いただいた皆様にごより感謝申し上げます。次年度も、多くの同窓生の皆様との再会を楽しみにしております。

軽米高校同窓会東京支部長・在京軽米会副会長
畑澤 康弘



北海道音更町 姉妹町だより

音更の実りの季節、到来。

7月中旬から小麦の収穫が始まり、収穫に合わせて小野町長が町内各地区を訪れ、小麦農家の作業の様子を視察するとともに、生産者を激励しました。小野町長は、生産者から今年の生育状況や収穫の見通しについて説明を受けたほか、黄金色に実った小麦を大型コンバインで刈り取る様子を見学しました。生産者からは「天候にも恵まれ、収穫は順調に進んでいる」との声が聞かれました。



音更の夏を彩る、黄金色の収穫風景

北海道音更町

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約42,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館

セレモニーホール

玉泉院

0120-494-109

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

その人生に感謝を。

二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600

久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061

軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109

福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440

九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

■竹原 朗斗 さんお気に入りの一冊



竹原 朗斗 さん
(軽米小学校4年)

小学館の図鑑NEO 魚

著/井田齊・松浦啓一（小学館）

僕は、小学館の図鑑の「魚」という本が好きです。この本は、魚の大きさやすみかだけではなく、ひれによって「湾入系」「せっ形」という種類の魚があることを知ることができます。僕が興味があるのは、マグロ等の二叉形の魚です。二叉形の魚は時速72kmという速いスピードで泳ぐので、とてもカッコいいです。

僕は福島に住んでいた時、岩手のおじいちゃんとおばあちゃんがよく釣りに連れて行ってくれて、魚が大好きになりました。この本で勉強しながら、釣りを楽しみたいです。

児童書



アイスクリーム!
にゅうにゅうさん

文/乾栄里子
絵/西村敏雄（ひさかたチャイルド）

にゅうにゅうさんのアイスクリームやさん、お客さんがなかなか来てくれません。売れ残りをもらって、アイス初めて食べたうさぎとぞうは…?

一般書



あの日のつづきを生きている

著/朝倉宏景（東京創元社）

台風で学校の応援団が到着できないまま、東城真央の夏の甲子園は一回戦敗退。7年後、旧友や家族は、彼の甲子園球場でのプロ一軍初登板を知り—

9月のテーマ図書展

認知症について
学ぼう!

毎年9月は、「認知症月間」です。この月間を機に、まずは認知症を知る事から始めてみませんか? 今月は、認知症がよくわかる本や、認知症介護の体験記、認知症にちなんだ絵本などを取り揃えましたので、ご利用ください!



赤羽 悠馬 さん（晴山小学校6年）

リーダーになる

僕は、6年生になって頑張っていることがあります。それは、全校を引っ張っていくリーダーになることです。6年生になる前の僕は、「6年生になればリーダーになる」と思っていました。しかし、いざ6年生になり、学校行事や集会の運営をしてみると、思い通りに進まなかったり、なかなか話を聞いてもらえなかったりすることがあります。そんな経験を通して、僕は「6年生になることがリーダーなのではない。みんなが分かるように運営し、全校をまとめていける人が本当のリーダーだ」と実感しました。僕は、みんなに分かりやすく説明するにはどうすればよいかを考え、新しい案も出しながら、より良い晴山小学校にしていきたいです。これからの学校生活では、みんなが楽しく過ごせるように「晴山の宝」を磨き、リーダーとして全校を引っ張っていけるよう頑張ります。



Unique poems

町文化協会 北光吟社 7月例会句会

夏 の 夕 肥 後 の 地 揺 れ に 胸 痛 む	高 橋 美 智 子	瓜 立 て て 庭 木 の 葉 裏 蟬 の 殻	三 上 千 栄 女	蟬 時 雨 蟬 取 り の 子 等 な き 里 に	丹 下 美 恵 子	風 わ た り 火 箸 風 鈴 涼 や か に	君 成 田 美 代 子	女 形 艶 め く 所 作 や 夏 芝 居	工 藤 ト モ エ	軸 一 幅 滝 の 流 れ る 茶 室 か な	大 清 水 雪 子	万 緑 や 協 奏 の 熱 持 ち 帰 る	川 崎 郁 子	待 合 の 人 生 模 様 送 り 梅 雨	千 葉 ふ み 子	姉 の 家 紫 の 濃 き 四 葩 か な	中 野 と き 子	人 住 ま ぬ 家 の 庭 に も 桜 草
---	-----------------------	--	-----------------------	---	-----------------------	--	----------------------------	---	-----------------------	--	-----------------------	---	------------------	---	-----------------------	---	-----------------------	---

宮 沢 歯 科 医 院

健康は『健口』から	
診療科目	診療時間
一般歯科	9:00 ~ 12:00
口腔外科	14:00 ~ 18:00
※予約制・当日予約可	休診日 日曜・祝日 第1, 3土曜日
宮沢歯科医院 軽米町	検索
九戸郡軽米町軽米8-105 ☎0195-46-2953	

中小企業の繁栄と発展をサポートします

丸 橋 弘

税 理 士 事 務 所

税理士 丸橋 弘（東北税理士会所属）

相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税

丸橋弘税理士事務所 検索

TEL:0178-32-0170
八戸市売市一丁目12-5

日帰り白内障手術・小児眼科
医療法人 仁久

白山台くに眼科

理事長 日本眼科学会認定専門医 濱端 久仁子

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~11:30 ● ● / 手術 予約のみ ●

14:00~16:30 ● ● / 注射 ● /

休診日:毎週水曜・第4土曜・日祝
TEL:0178-51-9251

国道104号線・八戸駅
八戸IC
八戸ニュータウンショッピングセンター
白山台小学校
八戸インターより車で3分

手造り 味 彩

折詰・弁当・オードブル

(焼き鳥・唐揚げ) テイクアウト予約承ります
お気軽に電話ください。

軽米町大字軽米11-127-4 ☎46-3680

子育てメモ

貴方へ



健康福祉課健康づくり担当 助産師 山本 マキ子

いつも笑顔でがんばっている姿が素敵です。

気が付くと今日も一日家事と育児で終わり、家の中を慌ただしく動き回った身体は「あちこちがこり固まって痛い」ってことがありますよね。特に、ねんねのあかちゃんがいる時には、抱っこや授乳等で同じような姿勢、動きが多くなるので身体もこりやすくなります。

そんな時は、ちょっとした空き時間にス

トレッチで身体をほぐすくせをつけましょう。呼吸法を取り入れながら身体の声聞くように心がけると、身体のコからポカポカしてきます。いつでもどこでもできる簡単なものです。意識的に身体を動かすことで気持ちもリフレッシュします。

そして自分に「頑張っている私、ありがとう。今日も素敵だよ」と声に出してみましょう。それだけで、身体がほぐれて心も少しずつ楽になってきます。

健康ふれあいセンターでは、月1回のMam's Coco サロン、その他個別でリフレッシュのための相談対応をしています。いつでもどうぞ、お待ちしております。

軽米病院だより号外

お墓に入れない？

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

独身の叔母を看取った時のことです。本来なら葬儀なども兄弟間でやってほしいのですが、高齢化のため私が引き受けることになりました。名字も同じであり、「先祖代々の墓」にすんなり入れてもらえるのかと寺に問い合わせたところ、「私が叔母の檀家になって、祭祀継承者になるか」と聞かれました。墓の継承者は私ですが、祖父母・父母のほかに叔母のための祭祀を継続していかなければならないとのこと。叔母とは疎遠だったこともあって遠慮させてほしいと伝えたところ、「それでは先祖代々のお墓には入れません」という回答でした。

通常、長男は親の葬儀の後、継承者（名義人）になって檀家の役割を果たしてい



ます。長男以外で弟や妹が元気なうちに、費用を負担して新たな檀家になってもらうことは通常やってないような気がします。例えは悪いですが、「会員権をもう一つ購入していないとお墓には入れない」、というように聞こえます。結局、叔母は先祖代々の墓には入れませんでした。檀家にならなくとも永代供養をしてくれる墓所もあって、きちんと埋葬することができました。これから更に少子高齢化が進んでいくのに、今のやり方では檀家が増えないような気がするんですが、大丈夫なんですか？

これは私の経験談であり、全ての寺院がこのようなやり方をしているかは不明なので、ご自分のお寺さんに聞いてください。

“食フェスタ&全国さるなし・こくわサミット inかるまい2026”開催のお知らせ

食フェスタinかるまいは、町内の団体や事業者などが一同に会する食の祭典です。町内外から訪れる消費者の皆様方に、当町の多様な食文化や特産品、当町で生産された農林畜産物を広くPRすることを目的としています。

テント村では、町内で生産された農産物を使用した郷土食等の販売、牛肉、豚肉、鶏肉の試食や、軽米産ホップを使用したビールの試飲も行います。

また、全国のさるなし栽培の組合が一堂に会するサミットが当町で同時開催されます。全国のさるなし商品の紹介や販売などが行われます。さるなし・こくわが大好きな方、初めての方や興味がある方は、どなたでも参加できます。詳しくは広報かるまいお知らせ版に掲載します。

皆さんぜひ会場にお越しください！

■開催日時 10月25日（日）9：45～

■会場 かるまい文化交流センター特設会場

■入場料 無料



体験イベント

- 花台づくり木工体験
- とり天バーガーづくり
- さるなし大福づくり

※ 体験イベントについては、いずれも先着順となっていますのでお早めにお越しください！



催し物

- ・景品付きお菓子まき大会
- ・ステージ発表（創作太鼓の会 座・宇漢米、沢田神楽、山内神楽）
- ・全国さるなし・こくわ商品紹介タイム
- ・「賞品付き」じゃんけん大会
- ・天津木村トークショー

※ 出店者、出演団体等の詳細は、観光協会ホームページ又は、10月14日発行の区長文書で配布されるチラシをご確認ください。

令和7年度の食フェスタの様子



【問い合わせ】産業振興課商工観光担当（☎46-4746）

戸籍の窓口

7月1日～7月31日 ※敬称略

★おめでとう

川原 湊^{れな} 奈^な 彰仁・愛実 米田
増山 湊^{みなと} 斗^と 歩夢・瑞樹 高清水

♥おしあわせに

{ 福田 丈幸 上円子
古里 結美 観音林北

●おくやみ

関向 安 (98) 岩崎
外山 孝二郎 (90) 山田
松下 睦子 (71) 桜山
吉岡 久藏 (102) 河北
吉田 喜一郎 (87) 門前
細谷地 智江子 (67) 百目金
福田 リセ (93) 上野場
古館 波男 (93) 高清水
大村 義明 (75) 本町
高林 幸子 (71) 大町

人の動き

令和8年7月31日現在(カッコ内は前月比)

人口 7,521人 (-18人)
男性 3,680人 (-8人)
女性 3,841人 (-10人)

世帯数 3,535世帯(-10世帯)
転入 6人 転出 12人
出生 2人 死亡 14人

交通事故

7月末(カッコ内は1月からの累計)
人身事故 0件(0件)
死亡者 0人(0人)
物損事故 5件(87件)

火災・救急

7月末(カッコ内は1月からの累計)
火災 1件(6件)
救急 33件(208件)

みんなの国民年金

予約による年金相談

年金手続きや相談の際は、待ち時間なくスムーズに手続きができるよう、事前の予約をお願いしています。予約すると、ご都合に合わせてスムーズに相談ができるほか、相談内容にあったスタッフが事前に準備を行い、丁寧に対応します。

また、ご家族が本人の代わりに年金の手続きをすることもできます。代理の人が年金の手続きをする場合には、本人からの委任状が

必要です。委任状の様式や必要な持ち物については日本年金機構ホームページをご確認ください。

相談希望日が決まったら早めの連絡をお願いします。なお、連絡するときは、基礎年金番号のわかる年金手帳などをお手元にご準備ください。ぜひ、予約したうえでの来所をお願いします。

【問い合わせ・申し込み】

二戸年金事務所 (☎23-4111)

予約専用電話 (☎0570-05-4890)



◀日本年金機構ホームページ

かんたんすいじん

肝胆膵腎超音波検診の 申し込みを受け付け

胃がん検診と同日に、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓超音波検診を受診することができます。現行のがん検診で見えない腫瘍や脂肪肝、結石などの疾患を見つけることもできます。

対 象 ▶ 満40歳以上の町民

実施日 ▶ 11月13日(金)

11月14日(土)

会 場 ▶ 軽米町農村環境改善センター

時 間 ▶ 6:30～9:30

定 員 ▶ 各日40名

※混雑を避けるため、日にちを指定させてい

たきます。

料 金 ▶ 税込5,830円

※70歳以上の方も5,830円料金がかかります。

※お釣りがないよう準備をお願いします。

期 限 ▶ 10月16日(金) 17:00まで

その他 ▶ 申し込み後、問診票を発送します。

受検上の注意をよく読んで受検してください。

【問い合わせ・申し込み】

健康福祉課健康づくり担当

健康ふれあいセンター内 (☎46-4111)



◀申し込みフォーム

休日当番医

(二)…二戸市 (軽)…軽米町 (一)…一戸町

日	急患（午前9時～午後5時）	電話	歯科（午前9時～正午）	電話
9/20	小野寺内科医院(一)	33-2505	森川歯科医院(二)	23-6361
9/21	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	沢藤歯科医院(二)	25-4002
9/22	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	宮沢歯科医院(軽)	46-2953
9/23	かわさきクリニック(二)	26-9900	ぽっぱ歯科クリニック(一)	31-1182
9/27	にのへ駅前脳神経外科クリニック(二)	26-8815	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
10/4	浄法寺診療所(二)	38-2021	奥中山高原歯科クリニック(一)	35-2951
10/11	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	みさわ歯科医院(二)	43-3115
10/12	松井内科医院(一)	33-2201	小野寺歯科医院(一)	33-3050



ハロウィンジャンボ4億円
(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ4,000万円
(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
9月16日※2種類同時発売! 発売期間 9/16③～10/16④
抽せん日 10/26⑤
公益財団法人岩手県市町村振興協会 各1枚 300円

●軽米町では **ミル・みるハウス** で販売しています！

聞こえにくいでお困りではありませんか？

- ・最近テレビの音が大きい
- ・聞き返しが増えた

聞こえ・補聴器相談
まずはご相談ください。

ひいらぎ耳鼻咽喉科

・八戸グランドホテル前
・八日町バス停徒歩3分
☎0178-70-5510

当院にご相談ください

喘息・長引く咳・長年のタバコで息苦しい
高血圧・糖尿病・高脂血症・睡眠時無呼吸

八戸図南小学校向い（登り街道340号線 八戸市内入ってすぐ）

はやし呼吸器・総合内科クリニック
電話 0178-20-7723

行政書士法人 リプル法務
＝出張します＝

相続・贈与・クルマ手続
《許可申請》**建設業・産業廃棄物**

久慈本所 久慈市栄町第37地割148番地1 ☎ 0194-52-2938
八戸事務所 八戸市大字市川町字桔梗野6丁目1-133 ☎ 0178-32-7217
代表社員 行政書士 下道利率 直通 ☎ 090-5595-1200



軽米町のホームページ・SNSはこちら！
フォローや友達登録よろしく願います。



軽米の輝き人 vol.65

One and only brilliance

南 昌 み ら い 高 校 2 年

紫 葉 風 花

S H I B A F U K A



水泳とともに歩み

さらなる高みへ



4歳から水泳を続け、全国の舞台へ挑戦している紫葉風花さん（軽米町出身）。現在は岩手県立南昌みらい高校スポーツ科学系ウェルネスコースの2年生で、水泳部に所属し、得意の自由形を中心に日々練習に励んでいる。

水泳を始めたきっかけは、兄が通っていた二戸スイミングスクールだった。「最初は速くなりたいという気持ちはなかった」と振り返るが、軽米小学校5年生の時に県学童水泳競技大会50m自由形で初優勝。中学校では、水泳部のある福岡中学校へ進学し、県中総体で個人、リレーともに好成績を収め、東北大会への出場を果たした。

高校進学では「実績のある先生のもとで教わり、もっと速くなりたい」と南昌みらい高校を選んだ。日々の練習では、長い時には1日に約5000mを泳ぎ込む。今年の県高校総体では50m自由形で優勝、100m自由形で2位に入るなど、着実に結果を残している。

続く東北高校選手権では、4×100mメドレーリレーのアンカーを務め、チームは3位に入賞。4位とはわずかの0.1秒差だった。「タッチした時は3位は難しいと思っていた。先輩たちが飛び跳ねて喜んでいて、掲示板で3位だと分かった瞬間が一番印象に残っている」と笑顔を見せる。昨年に続き、2年連続となるインターハイ出場を決めた。

「ベストが出た時のうれしさが、水泳を続けてこられた原動力」と語る紫葉さん。厳しい練習にも仲間と励まし合いながら向き合い、一歩ずつ力を伸ばしてきた。「いつもたくさんサポートしてくれている家族や指導者に、良い結果で恩返ししたい」。これまで積み重ねてきた努力を力に変え、さらなる自己ベストと高みを目指して泳ぎ続ける。